

特定非営利活動法人市民まちづくり会議・むさしの

令和2年（2020年）度第19回総会

令和2年6月6日（土）午前10時～12時分

場所：商工会館3F講座室※

資 料

（審議事項）

議案1 令和元年度事業報告および決算報告

事業報告書： 別紙1-1参照

収支計算書： 別紙1-2参照

監査報告： 別紙1-3参照

議案2

役員等の変更： 別紙2参照

議案3

定款第2条の変更： 別紙3参照

（提案事項）

提案1 令和2年度事業計画及び収支予算

事業計画： 別紙4-1参照

収支予算： 別紙4-2参照

※閉館の場合は事前に別途代替場所を連絡します。

別紙1－1 令和元年度事業報告書

§ 1. まちづくりに関する調査研究事業

1. 景観をテーマにしたまちづくり事業

事業内容1： 武蔵野市景観ガイドラインの検証及び市民向け手引き等のフォローアップ、及び景観に関する市民意識を高めるための啓蒙活動（南）

市内全体の景観向上を図る上で当面実施すべき課題としては、①景観の公共性に対する市民意識の向上（景観まちづくりの手引きの活用等）、②市内における景観問題の把握と改善手法の検討（フィールドワーク及び座学等）、③様々な景観向上施策に関する市民の理解の促進（景観ガイドラインの活用促進等）、④景観ガイドラインの内容の充実（記述内容の検証・改善等）などが考えられる。

③に関連して「まちづくりを楽しむ講座」の一環として、11月に「美しく魅力ある景観の整備手法」講座を実施した。ただし周知が不十分でもあったこともあり参加者数は低調であった。

事業内容2： その他、ウォッチング、事例視察など（南）

5月12日に、吉祥寺の商業地域にて、屋外広告物（看板を含む）に関する現地調査と勉強会を開催した。

2. 古民家ウォッチングの継続と利活用方策の検討

事業内容3： 古民家からKOMINKAへ（山田）

第2回古民家ウォッチングは杉並区荻窪駅南に点在する古民家ウォッチングを行った

「6月22日（土）9時半荻窪駅南口集合 15名の参加者」

最初に太田黒公園へ向かう道すがら長屋門を見て、西郊ロジング（S5年開業、有形文化財）を経て太田黒元雄旧宅を中心に整備されている公園を歩いた。

荻外荘公園から荻外荘（近衛文麿旧宅）を望み、角川庭園幻戯山房の内外を見学し、最後村井さんのご実家のギャラリーでランチしながら反省会を行った。

3. 都市計画マスタープランの見直しに向けた対応

事業内容4： 武蔵野市都市計画マスタープランの見直しへの対応（役員、篠原）

都市マス策定から20年を迎え、これまでの都市マスがどれだけ実現されたか、市民や関係団体を含めた、武蔵野のまちづくりの評価と課題をどう得るかが、スタートポイントと認識しつつ、まちづくり推進課からの協力要請に対応してきたが、最終的に市民意見交換会運営への参画は実現できなかった。直接的な理由は、まちづくり推進課が強く要望した、意見交換会実施時における、完全なまでのグラフィックイラストレーターの役割を当会として請け負えなかったことにあるが、その後の実施状況を見ても、コンサルによる同イラストレーターの技能水準は、推進課が当会に要望した水準には至っておらず、従来よりも意義ある市民意見交換会の成果が得られたかについては、多いに疑問がある。背景には、市民意見交換会に関する委員会と推進課の事前調整不足、当会としても推進課あるいは委員会との意思疎通ができていなかった点があると考えられる。今後、まちづくり会議としては、市から要請があれば協力は惜しまないが、都市マスにいかに関わっていくかという観点から、大きな課題を残すこととなった。

4. 「外環の地上部街路に関する話し合いの会」への司会者の派遣等

事業内容5： 中間まとめの会に進行役を派遣し編集作業をサポートする（村井、西村）

中間まとめの編集は、作業部会において市民構成員の意見をもとに行政意見の編集を行い、その成果についての編集会議（全体会）を令和2年2月18日に実施した。まだ、一部未編集部分が残るが、新型コロナウイルス

の影響により、2月28日の第41回作業部会以降休止となっている。

行政意見については、削除すべき回答や無回答についての表現等が課題であったが、各行政発言にキーワード付きの削除要望（例：はぐらかした回答）を付記することとなった。今年度の作業部会は、市民と行政担当者とのある程度の信頼関係によりスムーズに進められたという印象である。

平成31、令和元年度の作業部会は、当初からの5名の市民構成員（濱本、古谷、中村、西村、原 敬称略）が出席。東京都は課長代理以外の担当2名が入れ替わったが、詳細な結果概要の作成は好評である。市からは18年度に内田氏（旧姓）から引き継いだ山田（吉田、木口）氏が出席している。

[作業部会（第31～41回）：令和1年7月26日、8月27日、9月27日、10月24日、11月6日、11月19日、12月3日、12月19日、令和2年1月16日、2月4日、2月28日/中間まとめ編集会議（第4回）：令和2年2月18日]

5. 三鷹駅北口地区まちづくり協議会・準備会への支援

事業内容6： 住友不動産の武蔵野中町計画について（高田、塩澤）

昨年5月29日、6月1日に周辺住民に対し、開発基本計画の説明会があり、計画内容とスケジュールが示された。それを踏まえて、準備会として意見書を提出。また、住友不動産の申出により6月18日に準備会と話し合いを行った。意見書では、主に機械式タワー駐車場が景観に悪影響を与えていると共に、既に駐車台数は過剰になっていることから見直すべき点、二期工事が始まらない限り残存する老朽建物の撤去、店舗利用者向け駐輪場の見直し、屋上緑化の再考、敷地形状が変更されたことからまちづくり条例の手続きをやり直すべきといった内容である。

これに対し、7月1日に見解書が示され、その内容を踏まえ、機械式タワー駐車場と屋上緑化の見直しを求めて調整会開催請求することとした。調整会は8月30日に開催され（高田が代理出席）、その結果再度開催されることになり、10月2日に開催された。調整会では特に、駐車場の出入口周りに設計上無理があること、今回問題提起した駐車場の過剰設置については個々の開発の調整では不十分であること、エリア全体のまちづくりの中で調整すべきであること、そのための附置義務の見直しと、まちづくりの推進を意見提示した。調整結果は、駐車場台数については都条例の規定により計画変更できないためこれ以上調整不能、景観への配慮について事業者からデザイン上の工夫が示されたが、壁面緑化などは取り入れられず調整困難となった。屋上緑化については事業者から一部沿道に移す提案が示されて調整終了。駐車場出入口については居住者等への注意喚起措置を施すことで調整終了となった。

その後、しばらく動きがなかったが、2019年末頃から、工事が始まったことから、準備会として、住友不動産に問い合わせ、工事に関する話し合いの機会を設けることを求めたところ、3月4日（水）に開催することになった。事前に、質問事項も用意したが、新型コロナウイルス感染拡大を懸念して延期することとなった。工事は現在も進められている。

事業内容7： 「三鷹駅北口街づくりビジョン」について（高田、塩澤）

一昨年度に5回にわたり開催した三鷹駅北口街づくりラボ（三鷹ラボ：武蔵野市主催）での検討を経て、昨年度は三鷹駅北口エリアで社会実験を実施することとなった。8月20日に三鷹ラボを開催し、社会実験の実施方法について具体的に検討した。社会実験は、「三鷹駅北口パブリックスペース活用社会実験 ENJOY OPEN STREETS 武蔵野」と称して、9月19日～22日の4日間、かたらいの道と桜通りを会場に、7:30～19:30の間交通規制を行い、みちあそび、マルシェ、オープンカフェ等を実施した。第16回「タワーズマルシェ@むさしの」、三鷹駅北口商店会秋の祭礼も同日開催され、たくさんの来場者で賑わった。市の報告によると通りの利用者数が通常より、平日1.6倍、休日1.5倍だったということである。市は、今後こうした公共空間を活用した企業や団体の取組をサポートしていくとしている。

6. 市民が憩えるプレイス西通りをつくる会への協力

事業内容8： プレイス西通りについて（中島、清本、田中、篠原）

原則として、隔月土曜日の夜、2時間をかけて討論を行っている。武蔵境駅南口の整備もほぼ終わり、①プレイス西通りにおける人や自転車に優しい「路づくり」、②プレイスの前庭（境南ふれあい広場公園）の芝生の整備、

③ブレイス西通りと前庭の面的統合による路と広場づくり、④地下駐車場に関する現状と課題の把握及び今後の望ましい施設整備等の検討を引き続き行い、市民や関係団体、行政がどのように関わり連携して実現に向けて取り組むのかにつき、検討と議論、提案を進めている。①については、昨年10月に副市長及び都市整備部長、参与、まちづくり推進課課長、教育委員会課長との面談を実施、その後、本年1月には参与、まちづくり推進課長同課員との実務レベルでの議論を行い、都市計画決定変更に伴い市が懸念する事項については問題がない根拠を説明するなどの活動を行った。また、同会は、都市計画マスタープランの地域別計画への3・4・27号線の明示が引き続き発展的に行われるかについて注目している。さらに、武蔵野の森を育てる会が行っている境山野緑地の維持管理に伴う課題についても協力体制を維持している。

7. 「武蔵野の森を育てる会」とのコラボレーション事業の実施

事業内容9： クリーンセンターに武蔵野育ちの雑木を植える企画について（田中、村井）

境山野緑地産の雑木の移植先として、エコプラザ（仮称）とクリーンセンター新管理棟との間にどんぐり広場（約400㎡）が設計された。移植木については、「武蔵野の森を育てる会」（以下「育てる会」）がどんぐりから育てた実生苗を昨年春先に市担当、専門家と「育てる会」が現地を確認し、11本の候補樹（クヌギ4、コナラ6、エゴノキ1）を選定した。移植木は、事前に移植のための準備（根切り、根廻し）を行った。移植工事は移植適期である今年の2月18日、「育てる会」立会いのもと無事施工された。クリーンセンター建設時から長きにわたる市職員関彩奈氏の不断的確な対応が、この画期的な移植計画の実現につながったといえる。どんぐり広場には、境山野緑地由来の雑木であると表示することを市にお願いしている。

事業内容10： 緑の基本計画のフォローアップ（田中、村井、篠原）

市民ネットワークについては、武蔵野の雑木林の更新について理解のある市民活動関係者を招へいして「境山野緑地二小ゾーン萌芽更新の報告の集い」（11月16日）を開催し、二小ゾーンの樹木更新の効果を報告するとともに、独歩の森の更新につなげるためのアイデアを出し合った（20名参加）。これをばねに、市民団体27団体から後援を頂きシンポジウム「武蔵野の雑木林をたのしむ―森の若返り」で生き物が元気になった―」（2020年3月1日）を企画したものの、開催数日前にコロナ禍による武蔵野市の「イベント中止判断」を受けて中止となった。しかし、その時点ですでに100名の参加申込があり、雑木林の更新（若返り）に関する市民ネットワークを広げていける可能性を確認した。

市との協働については、二小ゾーンの更新の効果を確かめるための調査委託の内容等を協議するとともに、独歩の森の更新に関する意見交換を行うことができた。

8. 「くらしフェスタむさしの2019」への参加

事業内容11： クラシフェスタむさしの2019への参加（内門、篠原）

「武蔵野市の空き住宅等の現状と対策」について報告書を作成し、くらしフェスタむさしの2019にて9月27日～28日に展示、報告を行った。全体テーマは昨年引き続き「かわる時代かわる暮らし」。

また、二次展を11月10日に実施した。

9. リビング・ラボや映画上映等の調査や実践

事業内容12：リビング・ラボや映画上映等の調査や実践（長谷川）

武蔵野市を中心に活動してきた“ムービン・ピック委員会”による短編映画制作、並びにその作品発表上映会等に加え、その他、2月末完成した長編劇場映画も上映延期となり、新型コロナウイルス感染症のため、すべてが停止状態にある。吉祥寺エリア・全国でもすでにビジネスとしての映画館は封鎖されており、廃業に追い込まれているミニシアターもあり、今後の“ムービン・ピック委員会”等を通じた活動は状況の改善次第である。

10. 成蹊大学経済学部との地域課題に関するコラボレーション

事業内容 13： 成蹊大学などとのコラボを実現する（篠原）

具体的な要請はなかった。

11. 長期計画見直しへの協力

事業内容 14： 第6期長期計画策定に向けた市との協働を進める（中村、南、山田、村井、塩澤、篠原他役員及び会員）

当会の中村氏が第六期長期計画の策定委員に就任し（民間金融機関有識者として）、行財政を中心に市民意見の反映に努力いただいたことにより、他市とは異なる市財政の特徴を活かした計画づくり、景観や雑木林、道づくりなど、当会としてのまちづくり課題において、大きな成果を得ることができた。当会としても、パブリックコメントや意見交換会を通じて、まちづくり課題を中心に意見や主張を述べた。

12. その他事業

事業内容 15-1： まちづくりを楽しむ基礎講座を実施

（全体構想）

市民が楽しみながらまちづくりに参画する機会を設け、武蔵野市の都市計画マスタープランの見直しにつなげる取り組みとして、当会のメンバーがそれぞれの専門性を活かして本講座を実施。

各講座共に、市内における現地調査 1 回を含めて 3 回構成で実施した。

- （テーマ 1）ものづくりとまちづくり
- （テーマ 2）公共空間の活用によるまちづくり
- （テーマ 3）まちの設備とまちづくり
- （テーマ 4）美しく魅力ある景観整備の考え方と手法
- （テーマ 5）子どもとまちづくり
- （テーマ 6）観光の役割と観光まちづくりの手法

※実施日を含む概要については、参考 2 を参照（武蔵野市長への実施報告）。

事業内容 15-2： 第四次住宅マスタープラン策定委員会への参画（内門、篠原）

武蔵野市の要請により当会の篠原が策定委員会の副委員長に就任（民間シンクタンク研究員として）。武蔵野市の公募を通じて当会の内門が市民委員に就任。これまで前プランの継承事項、関連制度や計画との整合性の確認、空家法に基づく空家対策計画の統合について、住宅セーフティネット制度への対応、中古ストックの適切な維持管理、有効利用の推進をテーマに第 1 回及び第 2 回策定委員会を実施済み。第 3 回では子育て・若年ファミリー世帯の居住安定の支援をテーマに、3 月 3 日に開催予定であったが、新型コロナウイルス対策のため延期されている。

§ 2. まちづくりに関する支援・連携事業

事業内容 16： コミュニティ・まちづくり支援活動の実施（役員、会員）

けやきコミュニティセンターEV 設置及び内装工事（令和 1 年 6 月 28 日～令和 2 年 1 月 31 日）が実施され。工事期間中コミセン定例工程会議に出席し、助言等を行った（村井）。

事業内容17： まちづくり出前講座の実施（役員、会員）

地域団体やコミセン等の要請に応じて講師を派遣することとしていたが、昨年度は特に要請がなかった。

§ 3. まちづくりに関する普及啓発事業及びネットワークづくり

事業内容18 講習会、シンポジウム、まちづくり探訪等の開催（役員、会員）

- 吉祥寺の商業地域にて、5月12日に、屋外広告物（看板を含む）に関する現地調査と勉強会を開催（南）。
- 第2回古民家ウォッチングを、6月22日に荻窪で実施（山田）。
- 講習会について、今年度は、「まちづくりを楽しむ基礎講座（事業内容15-1）」を実施。

事業内容19 武蔵野市長、市議、まちづくり担当部門、市内外まちづくり団体とのネットワークづくり（役員、会員）

昨年度は、各事業を通じて、市長、副市長、市関係部署の部長や課長、担当者との面談を行うことによって、関係の維持を図った。

§ 4. 事務局業務及びホームページの維持管理・更新等

事業内容20 定例会の開催と運営（内門）

次の通り定例会を実施した。

- ✓ 7月12日（金）、消費生活センター講座室
- ✓ 9月13日（金）、同上
- ✓ 11月8日（金）、同上
- ✓ 2020年1月17日（金）、同上、終了後新年会実施
 - ・武蔵野市との都市計画マスタープラン改訂に向けての出張座談会が中心
- ✓ 2020年3月13日（金）：新型コロナウイルスのため中止

事業内容21 役員会の開催と運営（内門）

次の通り総会に向けての役員会を実施した。

2019年4月25日（木）19時～21時 消費生活センター講座室

事業内容22 各種届け出業務や会計業務、資料等印刷準備（内門）

東京都への報告、定例会・役員会等の資料作成準備業務、予決算・出納会計業務などを滞りなく行った。

事業内容23 ホームページの維持管理・一層の拡充等（山田、篠原）

従来の維持管理に加え、コンテンツ内容の更新についても外部委託し、業務の効率化と実務負担を軽減するとともに、迅速な情報提供体制を整えた。しかし、役員や会員からの投稿はほとんどなく、新規の記事掲載によるウェブ更新は停滞している。ホームページ全体の更新については、実現できず、引き続き検討を続ける。

以上

別紙1-2 令和元年度収支計算書

令和元年度収支計算書

平成31年4月1日～令和2年3月31日

(単位:円)

	収入	支出
会費・入会金		
入会金	1,000	
会費	58,000	
事業		
(1)まちづくり事業		
外環の地上部街路話し合い	160,000	
まちづくり講座	23,900	26,009
ウォッチング		6,010
(2)教育事業		
講師派遣	9,000	
(3)普及啓発事業		
ウェブサイト運用		169,256
その他収入		
寄付	180	
利息	9	
事務管理費		
消耗品		0
通信費		620
合計	252,089	201,895

収支差額	50,194
期首繰入(前期残高)	934,890
期末繰越(当期末残高)	985,084

別紙1-3 令和元年度監査報告書

令和1年度の業務監査及び会計監査の結果、「特定非営利活動法人市民まちづくり会議・むさしの」の業務は法令および定款に基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に基づいて適正に処理されていることを確認しました。

令和2年 4月 11日

特定非営利活動法人市民まちづくり会議・むさしの

監事	竹山 悠紀子	
監事	青木 一郎	

別紙2 役員等の変更

令和2年7月1日の任期満了にともない、下記のとおり法人役員及び執行役員を変更する。

法人役員には理事として村井寿夫を新任し、他は留任とする。執行役員のうち、事務局長の内門秋弘は辞意により退任（会員は継続）し、当面の間、篠原二三夫が兼務する（ただし、事務局業務は各役員が分担する）。その他は留任。

法人役員

旧		新	
役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	篠原 二三夫	理事長（留任）	篠原 二三夫
理事	南 賢二	理事（留任）	南 賢二
理事	山田 朗	理事（留任）	山田 朗
理事	高田 典夫	理事（留任）	高田 典夫
		理事（新任）	村井 寿夫
監事	竹山 悠紀子	監事（留任）	竹山 悠紀子
監事	青木 一郎	監事（留任）	青木 一郎

執行役員

旧		新	
役職名	氏名	役職名	氏名
代表	篠原 二三夫	代表（留任）	篠原 二三夫
副代表	南 賢二	副代表（留任）	南 賢二
副代表	山田 朗	副代表（留任）	山田 朗
副代表	村井 寿夫	副代表（留任）	村井 寿夫
副代表	高田 典夫	副代表（留任）	高田 典夫
副代表	河田 弘昭	副代表（留任）	河田 弘昭
事務局長（退任）	内門 秋弘	事務局長（新任）	篠原 二三夫 兼務
監事	竹山 悠紀子	監事（留任）	竹山 悠紀子
監事	青木 一郎	監事（留任）	青木 一郎
顧問	清本 和子	顧問（留任）	清本 和子
顧問	勝倉 啓示	顧問（留任）	勝倉 啓示

※事務局長は理事長が、当面の間は兼務するが、事務局業務については、以下のように役員（南、山田、村井、高田、河田）にて、総会後の互選を通じて分担し、各々が担当するものとする。

- ①NPO 事務手続き関係（東京都届け出関係、定款更新、法務局登録等々）
- ②会計出納納税関係（入会金・年会費徴収、口座管理、会費以外入金・出金管理、会計業務、源泉納税業務等々）
- ③定例会運営管理（議案確認、会員への開催連絡、場所の確保、プロジェクター手配等々）
- ④総会運営管理
- ⑤ML 配信・受信対応、ウェブ更新等広報業務
- ⑥くらしフェスタ関係（消費者展関係打ち合わせやフェスタ参加）

別紙3 定款第2条の変更

事務局長の変更により、令和2年6月6日付けで当会の主たる事務所を東京都武蔵野市境南町2丁目12番2-301号に移転する。これにあわせて、定款第2条を以下の通り変更する。

新	この法人は、主たる事務所を東京都武蔵野市境南町2丁目12番2-301号に置く。
旧	この法人は、主たる事務所を東京都武蔵野市緑町2丁目4番4-520号に置く。

--

別紙4－1 令和2年度事業計画

今年度は、新型コロナウイルス感染症の広がりと共にスタートしており、以下のまちづくり事業計画の多くは、下期以降であっても、思うように実現できない可能性が高いだろう。ただし、組織としてはまとまりにくくても、当会の地域における役員や会員等の個別の活動は、この事業計画とは別に、この非常時の中、何らかの形でその時点、その場の状況やニーズに対応したまちづくり・コミュニティ活動を支えることを期待したい。

当会のあり方については継続的な議論があるが、当会としては現状に対応した柔軟な対応をとり、必要に応じて役員や会員が、各コミュニティ活動に組織として又は個人として支持・貢献し、微力であっても、異なる角度からであっても、この危機の最中にあるまち・コミュニティの現状を改善することにつながればと考える。

この状況下で、当会としては、

- ①NPO 法人のステータスを活かし、パートナーとして個々のまちづくり・コミュニティ活動を支援すること、
 - ②対面による議論の機会が縮小する中で、パブリックコメントなど、市民によるまちづくり活動に関する市への組織的な提案を行うこと（市の活動自体も最低限の行政サービスの提供に限られる可能性があるが）
 - ③まちづくり・コミュニティ活動に関する情報の共有、発信の場となること、
 - ④まちづくり・コミュニティ活動を記録する場となること、
 - ⑤その他、様々なニーズに鋭意対応すること、
- などを通じて、引き続き、まちづくり活動の水準の維持に務めたい。

当会は、以上の認識に基づき、次のように令和2年度事業計画を提案する。

§ 1. まちづくりに関する調査研究事業

1. 景観をテーマにしたまちづくり事業

事業内容1： 武蔵野市景観ガイドラインの検証及び市民向け手引き等のフォローアップ、及び景観に関する市民意識を高めるための啓蒙活動（南）

市内全体の景観向上に向けて、昨年度に引き続き現状の課題把握や啓蒙事業等を継続的に実施する。

2. 古民家ウォッチングの継続と利活用方策の検討

事業内容2： 古民家から KOMINKA へ（山田）

武蔵野市に限らず他地域も含めて、新型コロナウイルス感染症の状況改善を前提に実施を企画する。

3. 都市計画マスタープランの見直しに向けた対応

事業内容3： 武蔵野市都市計画マスタープランの見直しへの対応（役員、篠原）

昨年度開催予定であった3月10日の第4回改定委員会は新型コロナウイルス感染症対応で延期された。今年度も感染症の影響でどうなるかは不透明だが、当初予定では第4回分を含めて9月末までに4回の改定委員会の開催が予定されている。

引き続き、改定委員会の動向をウォッチし、状況によっては意見書を提出する他、パブリックコメントには積極的に対応していく。

4. 「外環の地上部街路に関する話し合いの会」への司会者の派遣等

事業内容4： 中間まとめの会に進行役を派遣し編集作業をサポートする（村井、西村）

中間まとめの編集は、いよいよ大詰めで、今年度は都担当者の異動が無かったことから新型コロナウイルス感染症の禍が収まればフルバージョンは完成すると思われる。しかし、その後概要版や周辺住民の意見聴取等について検討が必要である。

本編をまとめるまで、あと 3 回程度の作業部会、秋に編集会議（全体会）を開くとして、年度後半は概要版の編集や、意見聴取等の検討となることが予想され、令和元年度と同等の回数の会議が行われる可能性が高い。今後の東京都の運営方針等は明らかではないが、3 月末の時点では、村井の進行役継続を望んでいると思われる。

5. 三鷹駅北口地区まちづくり協議会・準備会への支援

事業内容5： 「三鷹駅北口街づくりビジョン」について（高田、塩澤）

「三鷹駅北口地区補助幹線道路の整備により、三鷹駅北口の交通環境が大きな変化を迎える概ね 10 年後の目指すべき街の姿を描き、その実現に向けた取り組みを示す」とした「三鷹駅北口街づくりビジョン」（2017 年 5 月）には、準備会が示した「大切にしたいまちづくりの考え方」が反映されている。しかし、これから 10 年というタイムスパンで考えていくより先に、三鷹駅北口地区を取り巻く環境は日に日に動いていってしまい、現実が先行してしまいそうである。まずは基本的な「考え方」に立ち戻って、この地区を市民の側から、使用者の視点からの街のあり方を見直し、議論し、提案していく。

個別のテーマとしては、

- 東急ストア裏を含む商業地のあり方
- 駅前広場と玉川上水の関係
- 駅前広場の拡張を伴う再整備

など、喫緊の課題も含めて数多くあるが、それらを材料としてこの地区を取り巻く課題を明らかにし、この地区の将来像に対して今できることを支持していく。西久保一丁目緑を守る地区まちづくり協定、タワーズマルシェなど、これまで実現してきた活動実績を積み重ねていくことはもちろん、私たちを取り巻く環境について日常的な視点から積極的に発言し、行動していく。

6. 市民が憩えるプレイス西通りをつくる会への協力

事業内容6： プレイス西通りについて（中島、清本、田中、篠原）

今年度は、プレイス西通りの会を通じて、プレイス西通りにおける人や自転車に優しい「路づくり」のために、市による都市計画変更の促進に協力を続け、現市長及び副市長の任期内において、実現の道筋を立てることを目指す。そのために、これまでに検討した論点をまとめた包括な提言書を準備中で、市との効率的な協力をすすめたい。関連して、引き続き、プレイスの前庭（境南ふれあい広場公園）の芝生の整備、プレイス西通りと前庭の面的統合による路と広場づくり、地下駐車場に関する現状と課題の把握及び今後の望ましい施設整備等の検討を続ける。また、境山野緑地の整備についても検討をすすめる。

7. 「武蔵野の森を育てる会」とのコラボレーション事業の実施

事業内容7： クリーンセンターに武蔵野育ちの雑木を植える企画について（村井、田中）

クリーンセンター敷地への移植工事は、今年 2 月 18 日に完了した。現在、むさしのエコ re ゾート（エコプラザ（仮称））の 11 月オープンに向けて、多様な環境関連団体による連携会議が開かれ、様々な企画が検討されている。どんぐり広場の育成管理をその中のプロジェクトとして位置づけ、「武蔵野の森を育てる会」を中心に体験型環境啓発活動を行っていけるよう提案していく。

事業内容8： 緑の基本計画のフォローアップ（田中、村井、篠原）

二小ゾーンの樹木更新を成功に導くための保全活動を丁寧に行うとともに、その成果報告を兼ねて 2019 年度にコロナ禍によって中止となったシンポジウムを開催し、武蔵野の雑木林を未来へと継承するための市民ネットワークを広げる。それとともに、市とのコミュニケーションを深め、協働による雑木林保全の方策を検討する。

8. 「くらしフェスタむさしの2020」への参加

事業内容9： クラシフェスタむさしの2020 への参加（事務局、報告書は塩澤が担当）
今年度のテーマは、「武蔵野市の駅前再開発の現状（仮）」とする予定。

9. 様々な大学や研究機関、NPO との地域課題に関するコラボレーション

事業内容10： 大学や研究機関、NPO などとのコラボを実現する（篠原）
大学や研究機関、NPO など、何らかの機会や要請に応じて、連携をはかり、共同事業を含めたコラボを実現する。

10. 長期計画見直しへの協力

事業内容11： 第6期長期計画策定の実施状況を注視する（南、山田、村井、塩澤、篠原他役員及び会員）

第6期長期計画の実施状況、特に財政、都市、緑を中心とした課題について注視し、状況に応じて、市や関係者に対する要望や提案を行う。

11. まちづくりを楽しむ基礎講座のテーマに基づく事業の実施

事業内容12： 昨年度実施したまちづくりを楽しむ基礎講座の各テーマに基づく事業やイベントの実施（塩澤、篠原、村井、南、高田他）

全体計画：昨年度の実績をもとに、市や市民団体の事業や計画に対しても積極的に関与や提言をおこなう。

個別計画1：イルミネーションとお花による公共空間魅力づくりに向けたイベントの実施（篠原）。

個別計画2：吉祥寺中通り商店街の景観をリノベーションし吉祥寺の新たな憩いの場所とする（山田）。

個別計画3：景観や都市観光に関する市や市民団体の事業や計画に対して積極的に関与し提言する(南)。

12 その他事業

事業内容13： 旧赤星邸の活用方法に向けた講座等の提供

市の取得が決定した旧赤星邸（現ナムール・ノートルダム修道女会）について、市民サイドで活用方法を検討、試行する動きがある。当会としても、機会があれば講座等の提供を積極的に行う（村井）。

§ 2. まちづくりに関する支援・連携事業

事業内容14： コミュニティ・まちづくり支援活動の実施（役員、会員）
コミュニティ協議会等との連携の深化を行い、協力要請には適時対応する。

事業内容15： まちづくり出前講座の実施（役員、会員）
地域団体やコミセン等の要請に応じて講師を派遣する。

§ 3. まちづくりに関する普及啓発事業及びネットワークづくり

事業内容 16： 講習会、シンポジウム、まちづくり探訪等の開催（役員、会員）

ニーズに基づき、公園緑地や景観、古民家等のウォッチング、講習会、シンポジウム、まちづくり探訪などを企画あるいは連携して実施する（役員、会員）。

事業内容 17： 武蔵野市長、市議、まちづくり担当部門、市内外まちづくり団体とのネットワークづくり（役員、会員）

各事業を通じて、市長や副市長、市議、まちづくりやみどりの担当部門などとのネットワークづくりを行う。市内外まちづくり団体とのネットワークづくりを行う。

§ 4. 事務局業務及びホームページの維持管理・更新等

事業内容 18： 定例会の開催と運営（役員）

次の通り定例会を開催する。

- ✓ 7月17日（金）、消費生活センター講座室
- ✓ 9月11日（金）、同上
- ✓ 11月13日（金）、同上
- ✓ 2021年1月15日（金）、同上、終了後新年会実施
- ✓ 2021年3月12日（金）、同上

事業内容 19： 役員会の開催と運営（役員）

必要に応じて役員会を招集する。

事業内容 20： 各種届け出業務や会計業務、資料等印刷準備（役員）

東京都への報告や定例会・役員会等の資料作成準備業務、予算・出納会計業務などを行う。

事業内容 21： ホームページの維持管理・一層の拡充等（山田、篠原）

従来からの外部委託を中心とした維持管理に加え、役員による投稿を奨励し、新型コロナウイルス感染症問題の最中に置かれたまちづくり・地域・コミュニティ情報の発信に努める。記事の投稿件数の拡大やホームページ全体の更新については、この過程において、継続的な課題として検討を続ける。

集会やイベント等の開催が難しい状態にあることから、ウェブやメーリングリストによる情報共有機会の拡大務め、より多くの発信を行うようにしたい。投稿件数の増加に対応できるように、予算を拡充し、外部委託によるホームページの更新頻度を増やす。

以上

別紙4-2 令和2年度予算

令和2年度収入見込み:

昨年度繰越額	985,084 円	
会費収入見込み	58,000 円	会員数 29 人
活動による収入見込み	80,000 円	外環、講師代他見通し
収入合計	1,123,084 円	

令和2年度支出見込み:

事業内容	金額	備考
1. まちづくりに関する調査研究事業		
景観をテーマにしたまちづくり事業、古民家ウォッチング、都市計画マスタープランの見直しに向けた対応、外環の地上部話し合いの会への司会者の派遣等、三鷹駅北口地区まちづくり協議会・準備会への支援、市民が憩えるプレイス西通りをつくる会への協力、くらしフェスタむさしのへの参加、その他事業	10,000 円	資料・茶代等活動費
武蔵野の森を育てる会とのコラボレーション事業	25,000 円	講師謝礼等
予備費	5,000 円	予備費
小計:	40,000 円	
2. まちづくりに関する支援・連携事業		
コミュニティ・まちづくり支援活動の実施、まちづくり出前講座の実施	なし	
小計:	なし	
3. 普及啓発事業及びネットワークづくり		
講習会、シンポジウム等の開催、まちづくり探訪、ネットワークづくり等	10,000 円	企画準備費、茶代・資料作成費
小計:	10,000 円	
4. 事務局業務及びホームページの維持管理・更新等		
定例会・役員会の開催と運営 各種届け出業務や会計業務、資料等印刷準備	10,000 円	資料作成コピー代等
③ホームページの維持管理・一層の拡充等	250,000 円	昨年実績に加算
小計:	260,000 円	
合計:	310,000 円	

収支差額（次期繰越額）: 813,084 円

参考1：令和2年度会員名簿

1	代 表	篠原 二三夫	理事長、事務局長兼
2	副代表	南 賢二	理事、事務局兼
3	〃	河田 弘昭	事務局兼
4	〃	高田 典夫	理事、事務局兼
5	〃	村井 寿夫	理事、事務局兼
6	〃	山田 朗	理事、事務局兼
7	監 事	竹山 悠紀子	監事
8	〃	青木 一郎	監事
9	顧 問	清本 和子	
10	〃	勝倉 啓仁	
11	会 員	塩澤 誠一郎	
12	〃	内門 秋弘	
13	〃	西村 まり	
14	〃	高田 昭彦	
15	〃	田辺 軌夫	
16	〃	深田 貴美子	
17	〃	川名 雄二	
18	〃	内山 智子	
19	〃	中島 敏	
20	〃	手塚 一郎	
21	〃	菊池 太郎	
22	〃	中村 郁博	
23	〃	山本 ひとみ	
24	〃	三浦 香澄	
25	〃	原 利子	
26	〃	田中 雅文	
27	〃	長谷川 正人	
28	〃	梅川 誠	
29	〃	中村 晃博	

参考2： まちづくりを楽しむ基礎講座の実施状況

武蔵野市の後援名義の使用結果報告書は以下の通り。

第7号様式（第10条関係）

2020年 2 月

武蔵野市長 殿

所在地 武蔵野市緑町二丁目4番4号-520号
 団体名 特定非営利活動法人
 市民まちづくり会議・むさしの
 代表者氏名 篠原 二三夫 印

武蔵野市の後援名義の使用結果報告書

2019年9月9日付けで承認された武蔵野市の後援名義の使用をした下記の行事の結果について、関係書類を添えて報告します。

記

行事	名称	まちづくりを楽しむ基礎講座
	目的	多くの市民に都市計画マスタープランの改訂に関心をもってもらい、改訂プロセスに参加し、まちづくりに主体的に取り組む機運を高める。
	実施期間	別紙1の通り
	実施場所	別紙1の通り
	入場料	参加資料代として、原則参加毎に500円。詳細は収支決算書の通り
	入場者数	別紙1の通り
申請者	住所	武蔵野市緑町二丁目4番4号-520号 特定非営利活動法人 市民まちづくり会議・むさしの
	氏名	内門秋弘
	連絡先	uchikado@ll.em-net.ne.jp (0422-54-6332)
他の団体による後援等の有無	有（協力：日本建築家協会関東甲信越支部空間ワークショップフォーラム・武蔵野市立桜野小学校。後援ではありません）	

（添付書類）

- 1 行事等の収支決算書
- 2 その他必要な書類（後援名義の使用が分かるパンフレットその他）

コース別概要 結果

別紙 1

都市計画とまちづくり、ものづくり

担当者	日	場所	内容	出席者：人	収支：円
塩澤	7/27 (土)	武蔵野プレイス	まちづくりとものづくりの講習	7	収入：6,900 支出： 10,102
塩澤	7/28 (日)	田中農園	農園見学	1	
塩澤	7/30 (火)	雄島試作研究所	研究所見学	1	
塩澤	8/1 (木)	プロダクション I G	事業所見学	5	
塩澤	8/17 (木)	消費生活センター	講習と見学を受けての意見交換会	4	

公共空間の活用によるまちづくり

担当者	日	場所	内容	出席者：人	収支：円
篠原	9/1 (日)	武蔵野プレイス	欧米の公共空間の活用事例の講習	6	収入：
篠原	9/7 (土)	野外	武蔵野境、三鷹、吉祥寺の各駅前の公共空間の活用事例見学→意見交換会	3	6,500
篠原	9/20 (金)	消費生活センター	前2回を基に各参加者のアイデア交換	7	支出： 1,700

まちの設備とまちづくり

担当者	日	場所	内容	出席者：人	収支：円
村井	10/25 (金)	消費生活センター	インフラストラクチャーとは何か。	6	収入：
村井	11/2 (土)	中央公園～成蹊ケヤキ並木	雨水貯留施設、電線の地下埋設景観、	8	3,000
村井	11/13 (水)	消費生活センター	グリーンインフラを考える	3	支出： 2,177

美しく魅力ある景観整備の考え方と手法

担当者	日	場所	内容	出席者：人	収支：円
南	11/10 (日)	消費生活センター	美しく魅力あるまちづくりに向けた景観整備手法の講習	2	収入：
南	11/16 (土)	吉祥寺周辺	吉祥寺の商業地域と住宅地の景観調査	0	2,000
南	11/24 (日)	消費生活センター	美しく魅力あるまちの実現方策とその課題に関する意見交換	2	支出： 4,160

子どもとまちづくり

担当者	日	場所	内容	出席者：人	収支：円
高田	11/30 (土)	消費生活センター	空間ワークショップについての講習	4	収入：
高田	12/7 (土)	桜野小	子供たちの空間ワークショップの活動を見学	3	2,000
高田	12/14 (土)	武蔵野プレイス	前2回を基に参加者のアイデア交換	1	支出： 3,300

観光の役割と観光まちづくりの手法

担当者	日	場所	内容	出席者：人	収支：円
南	1/11 (土)	消費生活センター	観光役割と観光まちづくり手法の講習	5	収入：
南	1/18 (土)	吉祥寺周辺	観光資源、観光基盤に関する調査	3	3,500
南	1/25 (土)	消費生活センター	武蔵野市の観光まちづくりに関する意見交換	2	支出： 4,570

まちづくりを楽しむ基礎講座

収支決算書

(1) 収入の部 (単位:円)

収 入 源		金 額
1	講座参加料	23,900
2	市民まちづくり会議・むさしの自主予算	2,109
合 計		26,009

(2) 支出の部 (単位:円)

品 目 等		金 額
1	資料コピー代	14,377
2	会場・プロジェクター利用代	5,800
3	外部講師手土産一式	5,832
合 計		26,009